

過積載防止に向けて

バランスが崩れる！

ブレーキが効かない！

排ガスや騒音の増大！



道路や橋が壊れる！

ストップ！ 過積載！

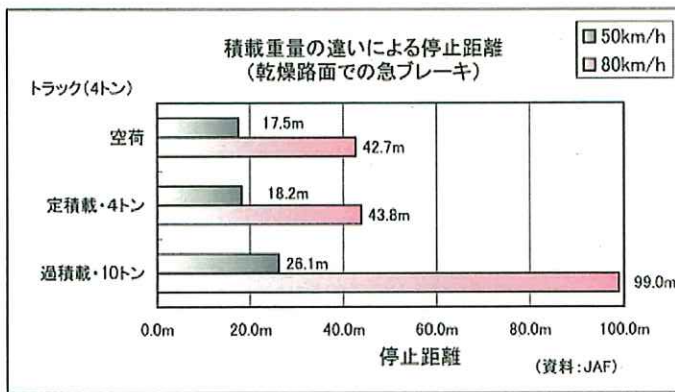
第2 過積載の危険と弊害等

過積載車両の走行は、交通事故が発生しやすく、道路構造物への悪影響、道路沿線への環境悪化や周辺住民に対する迷惑などがあります。

1 過積載に起因する交通事故

過積載による走行は、制動距離が長くなる、走行バランスが悪くなるなど、交通事故発生の大いなる要因のひとつとされています。

下図にあるように、乾燥路面で50km時の急ブレーキでは、空荷車両と定積載車両は、ほとんど違いはないのに、過積載車両は約8m先で止まることになります。速度が増せば、その距離は倍近くまで延びるのです。



制動距離が長くなる



さらに、ダンパー等の大型車両による過積載時の交通事故は、重大事故の可能性が高く、ひとたび事故が起これば多数の被害者を発生させます。

事故時の被害が増大する



挿絵提供：公益社団法人全日本トラック協会

<過積載による重大事故事例>

No.	都府県	事件名	発生日時	事故概要	
1	千葉	成田線大菅踏切における死傷者多数を伴う踏切事故	平成4年 9月14日(月) 午後4時6分	大型ダンプカー(最大積載量8.75t)に山砂37tを積載して約40km/hで下り坂を走行中、JR成田線大菅踏切付近で過積載のため車両に勢いがつき制動不能となり、当該踏切で警報機鳴動により停止していた2台の自動車に追突しそうになったため、右側車線に回避し、そのまま列車よりも先に当該踏切を通過しようとして加速しながら踏切内に入りましたが、進行してきた4両編成の普通列車と衝突した。	死者 1名 重傷 1名 軽傷 64名 列車32本運休 約5,300人が影響
2	静岡	東名高速道路由比町におけるトレーラー横転事故	平成8年 8月26日(月) 午後5時50分ごろ	大型トレーラー(最大積載量35t)に約37tのロール状ステンレス鋼材を積載して東名高速道路を走行中、対向車線に飛び出して横転、保冷車など3台が炎上、さらにロール状鋼材が並行して走る国道に落下し、乗用車を直撃したため4台が巻き添えとなった。	死者 6名 軽傷 2名
3	東京	渋谷区笹塚の国道20号「甲州街道」の交差点でコンクリートミキサー車の横転事故	平成11年 11月4日(木) 午後1時55分	最大積載量5tの1.4倍に当たる6.9tの生コンを積載して走行中、赤信号に気付くのが遅れたので、急ブレーキをかけ、左に急ハンドルを切ったところ、バランスを崩し、横転しながら横断歩道の列に突っ込んだ。	死者 3名 重軽傷 8名

2 道路や橋などを劣化させる

過積載車両の走行は、道路に過大な荷重をかけるので、舗装や橋を劣化させ、道路構造物の寿命を短縮します。その結果、道路補修費の増大をもたらします。

3 騒音・振動・排気ガスを増大させる

過積載車両の走行は、エンジンや車体に過大な負担をかけるため、騒音、振動、排気ガスを増大させます。これらは、沿道の環境を著しく悪化させます。また、周辺住民に対しても迷惑等を与えます。